

学校推薦型選抜 解答例

令和8年度

小論文

解答のポイント

問1

歩数の平均値は、令和5年の数値で男性では6,628歩、女性で5,659歩であり、女性の方が少ないことがわかる。また、この10年間の変化でみると、男女ともに減少している。

年齢別では、男性女性ともに40代以降の世代での減少が大きい。また、20～64歳の歩数の平均値は、男性7,506歩、女性6,494歩であり、65歳以上では男性5,329歩、女性4,419歩となっており、高齢世代の歩数が少ないことがわかる。

以上のことが、論理的にわかりやすく述べられていること。

問2

- ・女性より男性の方が仕事などで動き回ることが多いため、歩数が増えること
- ・高齢になるほど体力の低下や健康状態の変化により歩くことが困難になること
- ・環境としては、近年はネット通販などが増え、わざわざ出かけなくても買い物ができる環境が広がったこと
- ・地方では車を使う機会が多く、都市部よりも歩く機会が少なくなる傾向があること

などが、論理的にわかりやすく述べられていること。

問3

- ・個人としては、運動の回数を増やすだけでなく、生活活動として日常行っている家事や仕事などでの生活動作を見直し、そのなかで歩く回数や体を積極的に動かす動作を増やすなどを行うこと
- ・学校では、運動やスポーツ活動を行うことだけでなく、生活のなかで体を動かすことの重要性を教えていくこと
- ・社会では、日常生活のなかで身体を動かすような環境について、住民参加のもとに地域特性を踏まえた計画を策定し、実施していくこと

などが論理的に分かりやすく述べられていること。